

第18回山形県障がい者スポーツ大会陸上競技実施要領

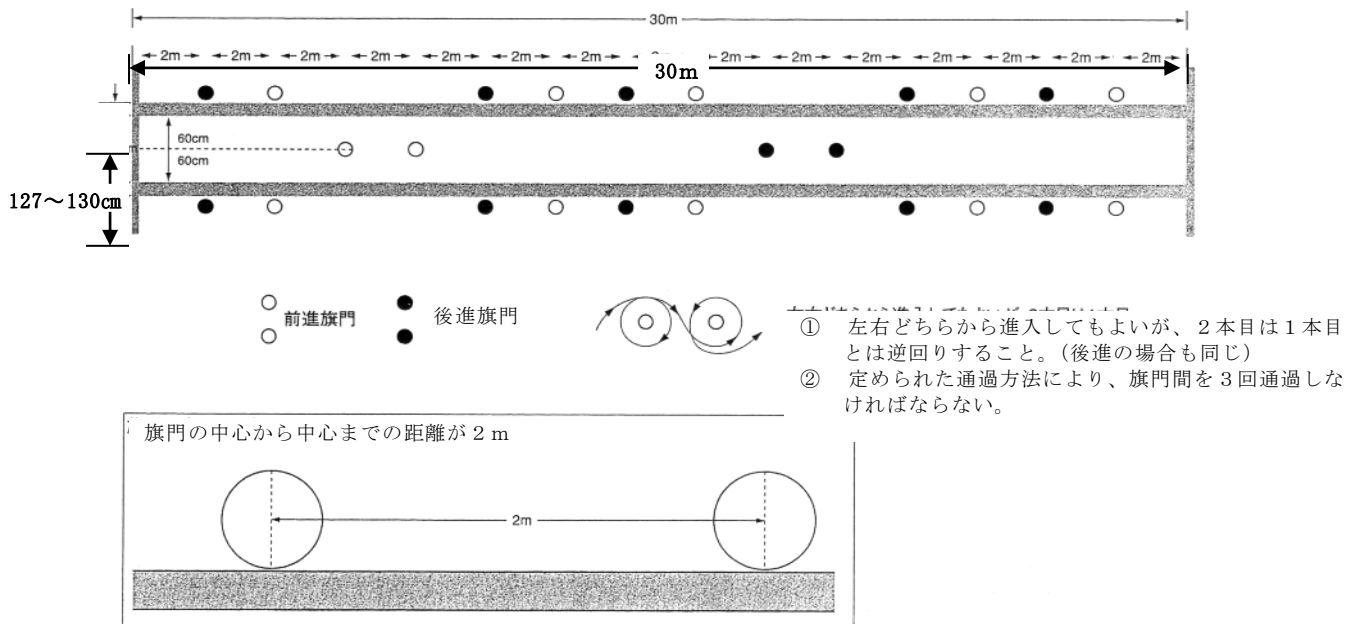
- 1 日 時 2019年5月18日(土)
受 付 9時00分 (NDソフトスタジアム正面玄関)
競技開始 10時00分 (NDソフトスタジアム)
競技終了 14時30分
- 2 会 場
山形県総合運動公園 NDソフトスタジアム
天童市山王1-1 電話：023-655-5900
- 3 主 管 (運営協力)
一般財団法人山形陸上競技協会 天童市陸上競技協会
- 4 競技規則
2019年度(公財)日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会規則」、(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び大会申合せ事項による。
- 5 参加対象者
身体障がい者(肢体障がい、視覚障がい、聴覚障がい、内部障がい)
知的障がい者
- 6 競技方法
競技は、予選を行わず、各組1回の決勝により行う。
《競走競技》
 - (1) スタートは1回制とし、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格となる。
 - (2) 50m競走についてはスタンディングスタートのみとする。また、スターティング・ブロックは使用することができない。
 - (3) すべての競走競技においてクラウチングスタートをしなくてもよく、スターティング・ブロックを使わなくてもよい。
 - (4) 400mまでの競走及び4×100mリレーのセパレートレーンにおいて、内側のレーンに入った場合は失格とする。ただし、直線においては、他の競技者を妨害しない限り失格としない。
 - (5) 800m競走は、第2コーナーの曲走路が終わるまでセパレートレーンで行う。
 - (6) 50m競走で使用する車いすは、手動かつ日常用とする。
 - (7) 車いすで100m以上の競走種目に出場する競技者は、ヘルメットを着用して競走しなければならない。
 - (8) 車いすは身体の一部であり、その接地面がスタートラインや左側のラインに触れてはならない。
 - (9) 1500m競走はオープンコースとする。

- (10) 4 × 1 0 0 mリレーは男女混合とし、バトンパスはテークオーバーゾーン内で行う。
- (11) 聴覚障がい部門のスタートは、次のように行う。
- ① 競技者全員が見えやすい位置とする。
 - ② 1 0 0 m及び2 0 0 mについては、いすに座った姿勢で、8 0 0 m及び1 5 0 0 mについては、立った姿勢でピストルを発射する。
 - ③ 「位置について」でピストルを肩口に移動し、一方の手でブロックへの移動を促す。
 - ④ 「用意」でピストルを保持した腕を地面と平行に前方に伸ばす。
 - ⑤ 上記の姿勢を保持したまま、ピストルを発射する。また、競技役員とのコミュニケーションが困難な場合、手話通訳等を立ち合わせる。
- (12) 視覚障がい者部門の障がい区分2 4の5 0 m競走は音源走のみとし、使用する音源はハンドマイクに収納した音源、または、それに類似するものとする。
- (13) 視覚障がい者部門の障がい区分2 4の者で伴走を必要とする場合は、原則として参加者が伴走者を用意すること。
- (14) 視覚障がい者部門の障がい区分2 4に属する者の5 0 mを除く競走競技で認められた伴走者は、フィニッシュの際には競技者の斜め後ろに位置しなければならない。
- (15) 視覚障がい者部門の障がい区分2 4に属する者の競走競技でセパレートレーンを使用する場合には、スタートラインを延長して、1人の競技者に1つ外のレーンを含む2レーンを割り当てる。(伴走者も2レーン分の中に入ること)延長するスタートラインは、ラインと同じ幅で同系色の粘着テープ等を使用する。
- (16) 視覚障がい者部門の障がい区分2 4に属する者は、競技エリアで光を通さないアイマスクを装着しなければならない。
- (17) 競走競技は、5 0 mと1 0 0 m両方に申し込むことはできない。

《スラローム》

- (1) 白色の旗門は前進、赤色の旗門は後進によって通過しなければならない。
- (2) スタートラインより6 m地点の旗門と1 8 m地点の旗門の通過方法は、次のとおりとする。
 - ・ 1本目の旗門を右回り(左回り)で1周した後、2本目の旗門を左回り(右回り)で1周し通過すること。
- (3) 旗門を倒した場合は、1本につき所要時間に5秒を加算する。ただし、倒した旗門に再び触れた場合は違反としない。
- (4) 通過の方法を間違えたままフィニッシュした場合は失格とする。ただし、フィニッシュラインに到達するまでならばやり直すことができる。その場合の反則や所要時間はすべての所要時間に含まれる。
- (5) スタートとフィニッシュは競走競技と同様に扱う。
- (6) スタートから5分を経過した時点で、フィニッシュしない場合は失格とする。

《スラロームの障害物および旗門の位置》



《跳躍競技》

- (1) 走高跳を除き、各競技者は3回までの試技が許される。
- (2) 視覚部門の走高跳は、助走してもしなくてもよいが、片足で踏み切らなければならない。
- (3) 立幅跳の踏切りは、両足同時に踏切るものとする。
- (4) 踏切線と砂場の距離は次のとおりとし、走幅跳の競技者は申込書に記載しなければならない。
 - ①立幅跳 0. 3 m
 - ②走幅跳 1 m 2 m
- (5) 障がい区分24に属する者は、競技エリア(助走路及び砂場)で光を通さないアイマスクを装着しなければならない。
- (6) 障がい区分25に属する者の走幅跳においては、助走路や踏切を援助する介助者を認める
- (7) 立幅跳と走り幅跳両方に申し込むことはできない。

《投てき競技》

- (1) 各競技者は、3回までの試技が許される。
なお、車いす使用者は、原則として3回連続して投げるものとする。車いす使用者以外の競技者の投てきにおいても、運営上3回連続して投げる場合がある。
- (2) 投てき物の重量・規格等は別表のとおりとする。
- (3) 車いすのシートの高さは、クッションを含めて75cm以下とする。
- (4) 車いす及び電動車いす使用者の投てきは次のように行わなければならない。
 - ①助走することなく、車椅子等を停止して、臀部がシートに着いた姿勢から投げ始めなければならない。補助員などが車いすを支持してもよい。

②試技が完全に終了するまでは、臀部がシートから離れてはならない。

(5) ジャベリックスローは、やり投げの規則に準じて行う。

(6) ソフトボール投は、やり投の規則に準じて行うが、投げ方は自由である。

(7) 視覚部門の競技者の投てきに対する援助は、競技前に限りサークル及び助走路内に入り方向確認することができる。また、方向確認を援助することができる介助者を認める。

(8) 障がい区分24に属する者は、競技エリア（助走路及びサークル）で光を通さないアイマスクを装着しなければならない。

(9) 投てき競技は障がい区分8を除き、ソフトボール投げとジャベリックスローの両方に申し込むことはできない。

7 助 力

介助者による競技中の助力行為は認められない。助力を受けた選手は失格とする。

8 招 集

(1) 招集所は陸上競技場第1ゲート付近(グラウンド100mスタート付近)に設ける。

(2) 招集は、開始時刻表に記載された競技時刻の、フィールド競技は30分前、トラック競技は15分前までに点呼を受け完了する。

(3) 点呼を受けた競技者は、招集所に待機し係員の誘導により競技場に移動する。

(4) リレー競技に出場するチームは、競技開始1時間前までにオーダー(走順)を招集所に提出すること。(用紙は受付で配布しています)

(5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものとみなし、出場できない。

9 2種目同時出場について

(1) 2種目同時出場する場合において、1種目目の競技終了時刻から2種目目の招集完了時刻までが、50分以内の競技者は、「2種目同時出場届」を提出することができます。以上の手続きにより、1種目目に出場する種目の招集時に、2種目目の招集も受けたことになり、1種目目終了後、直接2種目目の競技地点に移動することができます。

(2) 提出場所等

提出場所：招集所（第1ゲート付近）

提出時刻：最初に提出する種目の招集時刻までに

提出部数：1部（提出の用紙は受付で配布しています）

(3) 次の種目への移動は、可能な限りボランティア等を配置しますが、各自の責任で行ってください。

10 競技の服装

(1) 競技にあたっては、競技に適した服装を着用し、ナンバーカードは主催者が交付したものを競技服装の上衣の胸部及び背部に着用すること。

車いす使用競技者は、車いすの見えやすい位置に取り付けてもよい。

- (2) 競技に使用するスパイクピンの長さは、9mm以下、走高跳・ソフトボール投・ジャベリックスローは12mm以下とする。

11 表彰

当日表彰は行いませんが、受付にて記録証を配付します。(後日郵送はいたしません)

12 出場申込み方法

- (1) 陸上競技に出場を希望する者は、別紙「競技種目表」に示されている競技種目のうちから出場種目(2種目まで可能)を選び、出場申込書(様式1-1)により、2019年4月15日(月)までに申し込むこと。郵送またはメールでの申し込みのみ受け付けます。

なお、FAXでの申し込みは一切受け付けない。

- (2) リレー競技は個人競技に出場申込みしている者の中から選出し、男女混合とする。

競技種目及び競技順

トラック競技 10:00～14:30

- ① スラローム
- ② 50m
- ③ 200m
- ④ 800m
- ⑤ 400m
- ⑥ 100m
- ⑦ 1,500m
- ⑧ リレー

フィールド競技(投てき) 10:00～14:00

- ① ジャベリックスロー
- ② 砲丸投
- ③ ビーンバック投
- ④ ソフトボール投

フィールド競技(跳躍) 10:00～14:00

- ① 立幅跳
- ② 走幅跳
- ③ 走高跳

《投てき競技》

		男 子		女 子	
障がい区分 (番号)		1 部	2 部	1 部	2 部
肢 1	1	4 kg	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
肢 2	1 2	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg
	1 3	4 kg	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg
	1 4				
	1 5				
肢 3	1 9	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg
	2 0				
	2 1				
	2 2				
視	2 4	4 kg	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg
	2 5				
聴	2 6	4 kg	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg	2. 7 2 1 kg

種目 (障がい区分)	性別	重量・規格等	備考
ソフトボール投げ (該当する区分すべて)	男女	日本ソフトボール協会公認 「協会3号ボール (ゴム球)」	投げ方自由
ビーンバッグ投げ (該当する区分すべて)	男女	布または適当なものの袋に、 大豆等を入れたもの (12cm×12cm)重量150g	投げ方自由 (足にのせ蹴り出し可)
ジャベリックスロー (該当する区分すべて)	男女	ターボジャブ 長さ70cm 重さ300g	投げ方は やり投げに準じる